

「どこでもショップカー」開発

松電通信、買い物難民サポートで開発

オンライン面談カーが走る。特殊車両開発の松電通信（横浜市金沢区福浦、045-784-7878）は、高速通信規格「5G」によるテレビ会議システムを搭載した「どこでもショップカー」を開発した。トヨタのミニバン「ノア」をベースにした車両内に、大画面モニターなどを搭載。利用者は、車内のプライベート商談スペースで画面に映る販売員とオンラインでやり取りする。

もともと同社は、携帯電話販売店も運営する。コロナ禍で来店が難しい高齢者や入院患者、障がい者など買い物難民が多数いることから開発した。

この「オンラインカー」で訪問すれば、店舗側にとっても、販売員が直接出向かず非接触で、生産性向上にもつながる。すでに運営する「ドコモショップ代々木店」で試験導入したほか、横浜市



沢産業振興センターでも実演した。販売や更新手続きだけでなく、スマートフォンの操作説明などのサポートもできる。

テレビ会議システムは、米アップルの「フェイスタイム」を採用。車内には5Gルーターを搭載。大画面モニターでの高精細なフルハイビジョン映像を通じ、臨場感を演出した。「まるで相手が1メートル先にいるような感覚です」（荒木剛取締役）という。

オプションにより、顔や指紋認証システムなども追加可能。車両価格は620万円から。ベース車両が入手できれば2カ月程度で納車できるという。

当面は、高齢者世帯や福祉施設を想



定するが、その先の用途開拓も見据える。「他の業種でも活用できます。中でも遠隔医療分野にも普及させたいです」（同）と意欲を示している。

この記事のポイント

- ▽コロナ禍で来店できない客層にアプローチ
- ▽来店型ビジネスしかなかった業種で同車両の活用による商機拡大も

遊休施設活用しキャンプ場に

運動会屋、地域共創事業を展開

川崎発祥の運動会屋（横浜市都筑区早濑、☎045-590-2192）は、廃校などの遊休施設をキャンプ場にリノベーションして地域活性化につなげる新事業を始めた。第一弾として、南足柄市内で廃校となった中学校跡地にキャンプ場「キャンピース」を開業。4月には千葉県横芝光町と君津市、年内には茨城県内にも順次オープンしていく。



「地域共創事業」として育成する。校庭などに設けるキャンプ場は、家族や団体、個人が利用可能。料金は休日5500円から。「手ぶらでキャンプ」のプランでは、テントや調理器具なども貸し出す。初心者にはレクチャーもする。

コロナ禍で“密”を回避できるレジャーとしてキャンプが注目される中、遊休施設を再活用して誘客を狙う。仕事をしながら休暇を楽しむワーケーションや、近場を観光するマイクロツーリズムの拠点としての用途も見込んでいる。地元住民との交流会や地元食材の販売会なども企画し、地域の魅力の再発見にもつなげたい考えだ。

23年度には10カ所計画

同社の主力事業は企業向けの運動



会の企画・運営。自社で会場を持たない企業には、公共施設などの体育館を手配してきたが、2020年東京五輪前には会場が確保できなかったことがあった。そこで廃校に着目。「運動会ができ

るインフラがあり、（人が集まることで）地域も盛り上げられるシナジーが生まれます」と米司隆明・代表取締役CUO（Chief UNDOKAI Officer）。来年度には計10カ所の運営を目指す。


この記事のポイント

- ▽密を避けるウイズコロナ時代に対応したビジネスを考案
- ▽企業、利用者、地域の活性化につながる「三方よし」のモデルを展開

かわしん 経営サポート

創業、新分野・成長分野進出、海外進出、SDGs・カーボンゼロ
ビジネスマッチング、事業承継・M&A、その他

経営相談に関するお問合せは、

川崎信用金庫 お客さまサポート部  0120-502-456

【受付時間】平日9:00～17:00
(土・日・祝日・12月31日～1月3日を除きます)

- ご相談は営業区域の方に限ります。相談内容によっては、ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ご相談は無料で承りますが、相談内容によって、一部有料となる場合があります。

 KAWASHIN
100th Anniversary

 川崎信用金庫

経営に役立つ情報をメール
マガジンにて配信中です



ご登録はこちらから